

2025年7月16日
サンデン株式会社

SCHUFA 会議に欧州サステナビリティ責任者が登壇 ～ESG データが導く戦略的変革の可能性～

サンデン株式会社(本社:群馬県伊勢崎市)の欧州法人であるSanden International (Europe) GmbH (以下、SIE)の欧州サステナビリティ部門責任者であるアンナ-レナ・ペルンコプフが、2025年5月14日-15日にドイツ・ヴィースバーデンで開催された「SCHUFA (Schutzgemeinschaft für allgemeine Kreditsicherung / ドイツ信用保護協会)会議」のESGに関する専門家パネルディスカッションに登壇しました。

このパネルディスカッション「#ESG Sustainable Finance - 銀行と企業は規制をどう捉えているか」では、金融・産業・法務・監査といった多分野の代表者が集まり、ESGデータの標準化と透明性の確保に向けた課題と展望について活発な議論が交わされました。



アンナ-レナ・ペルンコプフ(SIE)

● 製造業からのリアルな視点を発信

SCHUFAは、ドイツを代表する信用格付け機関であり、近年ではESG分野にも注力するなど、金融と規制の交差点における重要なプレイヤーへと進化しています。アンナ-レナは製造業界を代表して登壇し、CSRD(企業サステナビリティ報告指令)をはじめとする欧州の規制実装における課題や、グローバル企業としてのESG推進の取り組みを共有しました。

特に、各国で異なる規制環境を乗り越え、SIEが欧州拠点としてグループ全体のESG活動を支える“ハブ機能”を担っていることに言及し、産業界の現場が直面する課題と可能性を提示しました。

パネルディスカッションは、ハイドルン・オーデンヴェラー＝クリューゲル氏の司会のもと、以下の著名な専門家が名を連ねました。

パネルディスカッション参加企業と役職

- ・ドイツ銀行 サステナビリティ最高責任者(CSO)
- ・Linklaters LLP 欧州ESGチーム共同責任者/訴訟・仲裁・調査部門責任者
- ・Umwelt Bank AG サステナビリティ部門責任者
- ・Deloitte GmbH パートナー/元ドイツ政府サステナブルファイナンス諮問会議メンバー

● 主な議論と合意事項

パネルディスカッションでは、企業と金融機関が連携し、効率的かつ標準化されたESGデータモデルを構築することの重要性が強調されました。このような仕組みを通じて、企業は煩雑な事務対応から脱却し、透明性の高いESGデータに基づいた戦略的判断やリスクマネジメントに集中できるようになります。

最終的に、このアプローチは複雑な規制を“戦略的なチャンス”へと転換する鍵になるという認識が共有されました。

● サンデンの役割と今後の姿勢

本会議でのSIEの発信は、製造業としてのリアルな視点と、グローバルなESG実践における積極的な姿勢を社会へ届ける機会となりました。

今後もサンデンは、規制の遵守にとどまらず、その運用方法や制度設計にも積極的に関与しながら、持続可能でレジリエント(柔軟で前向き)な未来の構築に貢献してまいります。



[参考リンク]

- ・Sanden International (Europe) GmbH <https://www.sanden-europe.com/>
- ・SCHUFA(Schutzgemeinschaft für allgemeine Kreditsicherung) <https://www.schufa.de/>

本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Mail : sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com Web : <https://www.sanden.co.jp/>